

# 5か年加速化対策による愛知県橋りょう補修事業の成果

(主)知多東浦線(寺本跨線橋)では、橋梁定期点検において、第三者被害の恐れのあるコンクリートの「剥離」が多数確認され、「Ⅲ：早期措置段階」と診断されたことから、橋りょう補修事業を実施する。

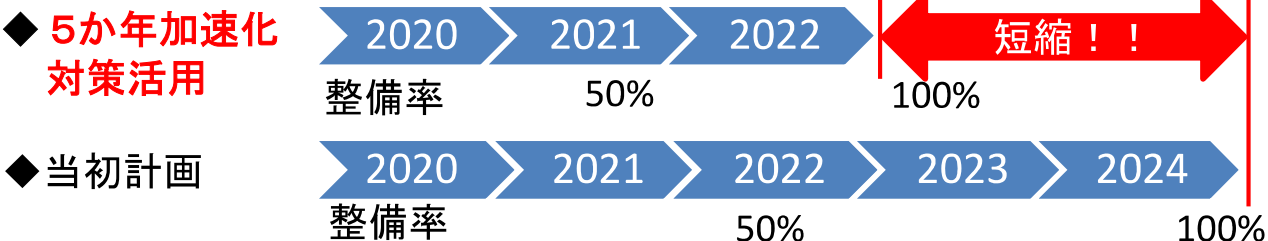
## (1) [対策名]84 道路施設の老朽化対策

- ◆事業名 道路メンテナンス事業  
ちたひがしうら
- ◆路線名 (主)知多東浦線  
てらもとこせんきょう  
(寺本跨線橋)
- ◆箇所名 知多市八幡地内

## (2) 事業概要

- ◆目的: 橋りょうの老朽化対策
- ◆総事業費: 1.32億円  
(5か年加速化対策事業費: 0.42億円)
- ◆事業期間: 2020年～2022年
- ◆事業内容: 橋梁補修

## (3) 事業スケジュール及び効果



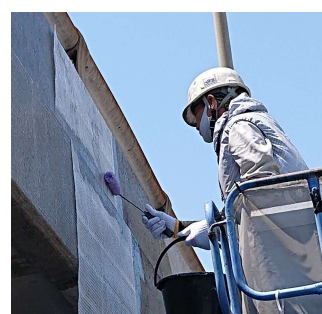
- (主)知多東浦線は、知多市を起点とし、知多郡東浦町に至る幹線道路であり、10,977台/日(H27センサス)の交通量を有する重要な路線である。
- 当該箇所の桁下直下は駐輪場として利用され、その横には側道が走っている。駐輪場の利用者や、側道を走行する車両等へ被害の恐れがある損傷を補修する。



< 損傷状況 >



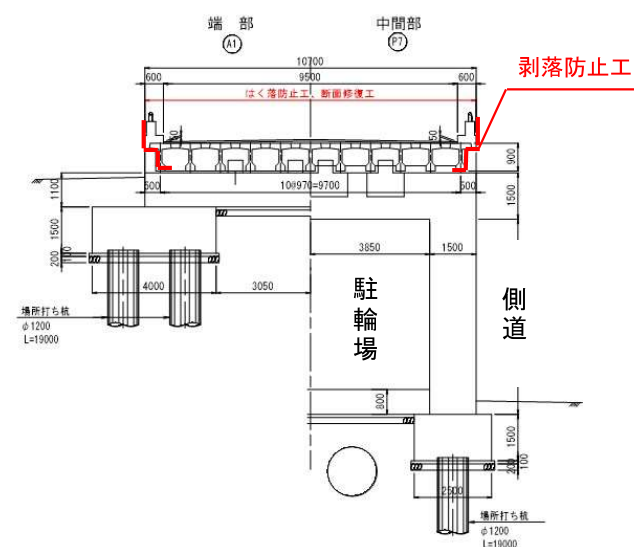
< 剥落防止工施工状況 >



< 現地状況 >



< 断面図 >



〔効果〕

➤ 第三者被害の恐れがある損傷を2か年前倒し早期補修が完了!